

木もれ陽

文責 平川 千秋

修学旅行の中止について

10月13日から15日にかけて、修学旅行を予定していました。事前学習を進め、行程を考えながら、学校を離れての旅行的行事を3年生の皆さんは待ち望んでいたことでしょう。

しかし、本当に本当に残念ですが、依然として収束の見えない新型コロナウイルスの流行状況があり、3年生とご家族の皆様の健康・安全を最優先して考えた結果、今年度の修学旅行を中止することにしました。

楽しみにしていた行事や部活動の大会がなくなったり、縮小されたり、現在も生活上で様々な制限があったりと、3年生の皆さんにはたくさん辛い思いをさせてきています。申し訳ない気持ちで胸が張り裂けそうです。でも、そんな中でも現実を冷静に前向きにとらえ、できる中で最善を尽くしてくれている3年生の皆さんに逆に力づけられ、励まされています。苦難を乗り越えていくその姿は、玉中の新たな伝説になるに違いありません。

これから先、先生方は3年生一人一人の進路実現に向けて全力でサポートしていきます。そして、修学旅行は実施できないけれど、その分皆さんの心に残る思い出を皆さんの意見を聞いて一緒に創り上げたいと思っています。どうかこの悲しい決定を乗り越えて、夢の実現に向けて前に進んでいってくださることを心から願っています。



秋の全国交通安全運動実施中 (9月21日~30日)



【9月30日(水)は「交通事故死ゼロを目指す日」】

現在、秋の全国交通安全運動が行われています。今回の運動の重点の第1番目が「子供を始めとする歩行者の安全と自転車の安全利用の確保」となっています。交通事故死者数全体のうち、歩行者の割合が最も高く、歩行者側にも横断歩道外横断や走行車両の直前直後横断等の法令違反が認められること、また、自転車は身近な交通手段ですが、自転車側に法令違反がある重大な交通事故が後を絶たないこと、特に、小学校5年生以降、自転車乗用中の死者、重傷者の割合が高くなることから、自転車利用者に対する交通ルール・マナーの周知徹底が必要であると言われていています。中学生の皆さんには、避難訓練や休暇前の集会等で繰り返し「自分の命は自分で守ること」を伝えています。これは災害時だけでなく、交通事故に遭わないよう登下校や部活動の遠征、そして通塾等、日常生活の中でも意識してほしいことです。

「注意一秒、怪我一生」かつて言われていたスローガンです。実際に中学1年生の時の登校中に自転車の接触で怪我をした私は、国語の時間のスピーチでその体験を話した記憶があります。怪我のために始めたばかりの部活動に参加できなかったこと、家族と約束していた美術展(モナリザ展)に自分だけ行けなかったこと……、今も覚えています。

この先、日没が早まり、下校時の事故が増えると言われてます。車の運転者も、薄暮の時間帯が一番前を見づらいからです。安全を意識して下校してください。